

1 テーマ

自分の思いや考えを豊かに表現する児童の育成 ～「書くこと」の指導の充実を通して～

○主題設定の理由

本校では、「みんなが楽しい学校」の創造に向け、教育目標「よく考え、心豊かで、たくましく生きる児童の育成」の具現化に取り組んでいる。校内研修では、平成28年まで多教科にわたる「学び合い」に取り組み、平成29年より3年間「特別の教科 道徳」について、“優しさをもった児童を育てたい”という共通の意識のもと取り組んできた。「考え、議論する」道徳授業の実現を目指して、めあて（テーマ）提示をして何をその時間に考えるのか教師と子どもたちの間で理解すること、内容項目に関して多様な価値観にふれさせ、考えさせる手立て、深く学ばせるための手立て、議論させるための諸活動など、授業改善に取り組んできた。また、あゆみや要録の評価に関する取組、カリキュラムの作成などについても取り組みを重ねた。その成果は、学級における支持的風土の醸成、規範意識の高まりとなって子どもたちの姿に表れている。この支持的風土の醸成、規範意識の高まりが、授業を通した多様な見方・考え方との出会いへとつながっている。そして児童が、その多様な考えを受け入れ、見方を広げられるようになってきたと言える。つまり、現在、学習指導要領にも示されている主体的・対話的で深い学びを支える土台が整ってきていると考える。

一方で、学力テストの結果などから、国語科の「書く」分野における子どもたちの弱さが課題としてあがっている。そこで、今年度は引き続き、国語科の研究に取り組み、児童が問題文や資料を理解した上で、自分の思いや考え、登場人物の気持ちなどを「書く」力を伸ばしていきたいと考えている。一単元・一単位の授業で児童に身に付けさせるべき力を明確にした授業づくりをいかに実現するかについて、研究を深めていきたい。

以上のように考え、上記の研究主題を設定した。

2 仮説

「書くこと」の授業において、教師が児童に身につけさせたい力を明確にして授業づくりに取り組み、児童が「書く」場面を意識的に仕組むことで、児童は学習した教材以外の文章に出会った際にも、学習した事柄を活用して自分の思いや考えを意欲的に書くことができるであろう

3 内容

○本校では、国語科以前に3年間「特別の教科 道徳」について、優しさをもつ児童、自らよりよい生き方を求める児童を育てるために、授業を中心として研修を進めてきた。一昨年度より、本校の課題である学力向上に向け、読解力そして特に書く力を育てるために「国語」へと研修内容の転換を図り、全職員で進めている。

○全職員研究授業を一本行うことを基本として、授業実践に力を入れて計画的に進めていく。

○校内の組織を授業研究部・資料開発部・環境整備部とし、各部門での連携や仕事内容の分担を行い、効率的に研究ができるようにすすめていく。

4 年間計画

学期	月	全/部	内 容
前 期	4月	全	研究方針について ・研究主題の検討 ・研究内容の検討（「国語」に関する共通理解） ・研究方法の理解（3部会ごとの年間計画） ・年間計画
	5月		
前 期	6月	全	研究授業のあり方・指導案作成・授業研究 ・学習指導要領を踏まえた授業作り
	7月		
前 期	8月	全	研究授業のあり方・指導案作成・授業研究 ・学習指導要領を踏まえた授業作り
	9月		
後 期	10月	全	・授業実践（順次授業を行い、交流と研究を行う） ・授業交流・授業研究（普段授業、提案授業の実施） ※必要に応じ、授業内容についての共通理解を図る時間を設ける。
	11月		
	12月		
	12月		
後 期	1月	全	授業研究のまとめ
	2月		
後 期	1月	部	研究の原稿作成
	2月		
後 期	1月	全	年度の総括
	2月		